

2023改定入管法施行後、どうなっているか ～ 私たちにできること



今年6月10日に全面施行された2023年改定入管法。「送還停止効の例外措置」や「監理措置」など、当事者や支援者が懸念してきた改定法の運用状況はどうなっているのでしょうか？

さらに、改定法で申請手続きとなり、ガイドラインも改訂された在留特別許可の運用の現状や、昨年8月の法務大臣の特例措置による「非正規滞在の子どもと家族の在留特別許可」による救済状況、そして残された課題は？

今回のセミナーでは前回5月に引き続き、難民や外国人の収容問題に長年かかわってこられ、今年3月に発行された「2023年改定入管法解説」(現代人文社)の著者でもいらっしゃる児玉晃一弁護士を講師にお迎えして、施行から4カ月あまりの改定入管法の運用状況についてお話しいただき、当事者の方からも証言をいただきます。現状を知り、カトリック教会にできること、私たち一人ひとりにできることについて、参加者のみなさんと共に考えていきたいと思ひます。

日時：2024年10月31日 (木) 19時～20時30分

オンライン Zoom

<プログラム>

- 開会の祈りと挨拶 森山 信三 司教 (J-CaRM担当司教)
- 講演 児玉 晃一 さん (マイルストーン総合法律事務所、弁護士)
- 当事者からの証言
- 質疑応答
- 閉会の挨拶と祈り 山野内 倫昭 司教 (J-CaRM委員長)
- 司会 山岸 素子 さん (J-CaRM 専門委員)

●参加費無料

●Googleフォーム <https://forms.gle/suBRg46toPqsnCG16>

または、右のコードからお申し込みください。

